

携帯黒電話 Bluetooth(ver. 3)

製品型番 : TTR-KUR03-BT

取 扱 説 明 書

目次

1	使用上の注意	1
2	使用前の準備	2
2.1	充電	2
2.2	電源のオン・オフについて	3
2.3	Bluetooth 機器の登録（ペアリング）と接続	4
3	通常の使用方法	6
3.1	着信	6
3.2	発信	7
3.3	フッキング	8
3.4	リダイヤル	8
3.5	短縮ダイヤル	8
3.6	受話器・送話器の音量調節	9
3.7	トーン信号の送出	9
3.8	Bluetooth の接続	10
3.9	Bluetooth の切断	11
3.10	タイマー機能	12
3.11	バッテリー残量の確認	12
3.12	ベルテスト	12
3.13	iPhone の Siri など使用時の注意事項	13
3.14	スマートフォンの音声アシスタント操作	13
3.15	メディア再生の操作 (A2DP 機能)	14
3.16	スマートフォンの通話アプリ（IP 電話）での通話	15
4	各種設定	17
4.1	充電速度・充電完了ベルの設定	18
4.2	ダイヤル桁間タイマの設定	18
4.3	リダイヤル機能の設定	18
4.4	オフフック時自動接続の設定	18
4.5	常時自動接続の設定	18
4.6	通話アプリ機能の設定	19
4.7	音声アシスタント機能の設定	19
4.8	A2DP 機能	19
4.9	Bluetooth デバイス名の設定	19
4.10	ベル音量の設定	19
4.11	着信ベル種類の設定	20
4.12	マナーモードの設定	20
4.13	バージョン番号確認	20
4.14	電源オフ	20
4.15	再起動	20
4.16	設定初期化	20
5	付録	21
5.1	電波法の認証について	21
5.2	仕様	21
5.3	特殊ダイヤル操作一覧表	22

1 使用上の注意

携帯黒電話 Bluetooth（以下「本製品」）は、携帯電話と Bluetooth で接続し、黒電話の操作により携帯電話回線での発着信および音声通話を実現するものです。

本来の用途以外のご使用はしないでください。

本製品は空調管理された室内での設置・使用・保管を想定しています。

下記のような場所には設置・使用・保管をしないでください。

- ・ 極端に高温になる場所（直射日光の当たる場所や熱源の近くなど）
- ・ 極端に低温になる場所
- ・ 湿度の高い場所（風呂場や加湿器のそば・風雨の当たる場所など）
- ・ 不安定な場所
- ・ 極端に振動が激しい場所
- ・ 強い磁界・電界が存在する場所（家庭用コードレスホンや無線機器・電子レンジ・IH 調理機器等の近くなど）
- ・ 空気の汚れが多い場所（ほこりや油飛びなど）
- ・ 気化した薬品や可燃性ガスなどが充満した場所

また、下記の使用方法に従ってください。

- ・ 使用前の準備・通常的使用方法については、本取扱説明書をよく読み、記載内容に従ってください。
- ・ 基本的には製品付属の AC アダプタ・充電ケーブルを使用してください。
それ以外の充電器を使用する際は 2.1 節に記載の仕様の充電器を使用してください。
- ・ 付属 AC アダプタは家庭用 AC100V 電源以外（発電機、直流 12V から交流 100V の変換器等）では使用しないで下さい。
- ・ AC アダプタの本体・充電用ケーブル・コネクタが破損している場合には使用を中止し、販売元に修理または交換を依頼してください。
- ・ 発煙や異臭がする際にはすぐに AC アダプタ・全てのコネクタを抜き、使用を中止して下さい。
- ・ 水が装置内部に入った場合、すぐに AC アダプタ・全てのコネクタを抜き、使用を中止して下さい。
- ・ 濡れた手で本体やコネクタに触らないで下さい。
- ・ コネクタの端子に触ったり、導電性異物や薬品を付着させたりしないで下さい。
- ・ 雷が激しい時は、AC アダプタをコンセントから抜いて下さい。
- ・ 高い場所から落下させないで下さい。
- ・ 分解・改造・ハンダ付けなどをしないでください。

免責事項：

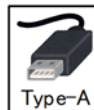
- ・ 本製品の故障、誤動作、不具合あるいは災害・事故などの外部要因によって、通話の機会を逸したため生じた損害などについて、当方は一切の責任を負いかねます。
- ・ 本製品の不具合・その他過失などによって生じた金銭的・その他の損害などについて、当方は一切の責任を負いかねます。
- ・ 本製品の故障等による物損事故（接続した携帯電話等や周辺の品物が連鎖的に故障した場合など）には、本製品の保証期間であっても、本製品およびその付属品以外については、当方は一切その責任を負いかねます。
- ・ 本製品の故障等による人身事故につきましては、当方は一切その責任を負いかねます。

2 使用前の準備

2.1 充電

使用する前に、携帯黒電話の内蔵バッテリーを充電して下さい。

まず、本製品付属の AC アダプタをコンセントに差し込み、付属充電ケーブルの Type-A コネクタ側を AC アダプタに差し込んでください。



次に、黒電話後ろにある充電用コネクタに付属充電ケーブルのマグネットコネクタ側を接続してください。磁石が内蔵されており、近づけるだけで「カチッ」と接続されます。

マグネットコネクタに表裏はなく、180 度回転しても接続可能です。

※マグネット部分(黒電話側・ケーブル側の両方)は、下記にご注意ください。

- ・衝撃を与えると磁石が割れる場合があります。
- ・金属粉・金属片などが付着しないようにして下さい。
- ・クレジットカードなど、磁気弱い物を近づけないで下さい。



コネクタを差し込むと、ベルが「キンコン」と 1 回鳴り、バッテリーの充電が開始されます。

(バッテリーが完全に無くなっている場合、ベルが鳴るまでに 1 分程度かかることがあります。)

充電が完了すると、「キンコン」が 2 回鳴ります。

充電完了ベルを鳴らしたくない場合や、出力電流の小さな AC アダプタ等を使用する場合には、4. 1 節に従って充電完了ベル・充電速度の設定をしてください。

※充電器を常時接続したまま使用することもできます。(バッテリーの過充電にはなりません)。

充電用電源として下記なども使用できますが、括弧内の仕様を満たしているかご確認ください。

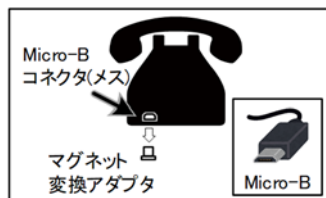
- ・パソコンの USB ポート(定格電圧 5V・最大電流 500mA 以上のもの)
- ・汎用の USB AC アダプタ(定格電圧 5V・最大電流 1A 以上のもの)
- ・モバイルバッテリー(定格電圧 5V・最大電流 1A 以上のもの)

市販の Micro-B 充電ケーブルを使用する方法：

黒電話には USB 規格の Micro-B コネクタ(メス)が装備されており、出荷時には Micro-B コネクタをマグネットコネクタに変換するアダプタが差し込まれています。

市販の USB ケーブル(Micro-B コネクタ)を使用したい場合は、黒電話に差し込んであるマグネット変換アダプタをペンチなど挟み、まっすぐに引き抜いてください。

※Micro-B コネクタを使用する際、コネクタを差し込んだ状態で、強い力や衝撃を加えないでください(特に上下方向)。抜き差しする際には、上下には揺すらないでください。Micro-B コネクタが破損する場合があります。



※制御基板キットではマグネットコネクタはオプションです。

Micro-B 充電ケーブルを使用してください。

2.2 電源のオン・オフについて

1) 電源をオンにする方法：

下記のいずれかの方法で電源をオンにできます。

- ・充電器を接続すると、電源がオンになります。
- ・受話器を置いた状態でダイヤルを回すと、電源がオンになり、回したダイヤル番号に割り当てられた機能が起動します。(22 ページ参照)。
- ・受話器を上げ、何も音が聞こえないことを確認してからダイヤル（番号は何でも構いません）を回すと、電源がオンになります。電源がオンになると、スピーカーから「ツー・ツー」と音が鳴ります。

2) 電源をオフにする方法

- ・**受話器を置いた状態で**ダイヤル「0」を右へ回した後、指止めのところで一旦止め、「キンコン」と鳴ったら指を離します。

その後、5 秒以内に「1」をダイヤルし、指止めで止めずに離してください。

すると、「キンコン」2 回のベルが鳴って、電源がオフになります。

※充電器が接続されている時には電源をオフにすることができません。

3) 内蔵バッテリーの劣化を防ぐために、以下の使用方法をお勧めします。

- ・バッテリーレベルが「低」(3. 11 節参照)になる前に充電するようにしてください。
- ・本製品を長期間(およそ 7 日以上)使用しない場合には、バッテリーを充電した後、充電用コネクタの接続を外し、電源をオフにして保管するようにください。

2.3 Bluetooth 機器の登録（ペアリング）と接続

以下の手順に従って Bluetooth 機器（携帯電話）の登録（ペアリング）と接続を行ってください。
この際、黒電話と携帯電話との距離が 50cm 以内の状態で行ってください（通常の使用時より近づける必要があります）。

- 1) 受話器を置いたまま「8 1」をダイヤルしてください。（機器番号 1 番に登録します。最大 3 台まで登録でき、2 番、3 番に登録するにはそれぞれ「8 2」、「8 3」をダイヤルして下さい。）

ベルが『キンコン』1 回（しばらく休み）...』と鳴り続けます。



「81」をダイヤル

- 2) 以下の手順に従って携帯電話から、携帯黒電話の検索を行ってください。

・ iPhone の場合：

「設定」／「設定」－「一般」の「Bluetooth」設定画面にて Bluetooth をオンにして、設定画面を表示したままにしておいてください。

「その他のデバイス」のところに「Kurodenwa」が表示されたら、検索完了です。
※携帯黒電話と再度ペアリングを行う場合、必ず一旦「登録を解除」を行ってください。（Bluetooth 設定画面の「Kurodenwa」の右側の「⓪」アイコンから行えます。）



携帯電話から
検索・接続操作

・ Android スマホの場合：

「設定」－「無線とネットワーク」などの「Bluetooth」設定画面にて Bluetooth をオンにしてください。そして、「機器の検索」や検出アイコンをタップするか、メニューの「検索」を選んでください。

「使用可能な機器」のところに「Kurodenwa」の名称が表示されたら、検索完了です。

・ Android スマホ (Android OS 9 以上) の場合：

「設定」－「機器接続」－「新しい機器とペア設定する」を選んで、画面を表示したままにしておいて下さい。

「使用可能な機器」のところに「Kurodenwa」の名称が表示されたら、検索完了です。

※携帯黒電話と再度ペアリングを行う場合、必ず一旦「以前接続されていた機器」の「Kurodenwa」を削除してください（「Kurodenwa」の右側の歯車アイコンから行えます。）

・ フィーチャーフォン (Android OS 搭載) の場合：

「設定」の「Bluetooth」設定画面にて Bluetooth をオンにしてください。そして、メニューから「更新」を選んでください。

「使用可能なデバイス」のところに「Kurodenwa」の名称が表示されたら、検索完了です。

・ フィーチャーフォン (3G ケータイなど、Android OS 非搭載) の場合：

「メニュー」より、「LifeKit」－「Bluetooth」や「便利ツール」－「Bluetooth」などにある、「機器リスト」から「検索」「サーチ」などのメニューを選択して下さい。

「Kurodenwa」が表示されたら、検索完了です。

・ WILLCOM/Y!mobile の携帯電話 (PHS) の場合：

待ち受け画面から決定ボタン押し、「Bluetooth」メニュー画面から、「親機モードで接続」の操作を行ってください。機種によってはさらに「登録機器一覧(親機)」などを選択し、「検索」を行ってください。「Kurodenwa」が表示されたら、検索完了です。

※検出が成功するまで数回繰り返し操作が必要な場合があります。

3) 検出された「Kurodenwa」に対して以下の手順で、ペア設定・登録・接続操作をしてください。

・ iPhone の場合 :

・ Android スマホの場合 :

検索された「Kurodenwa」をタップしてください。

・ フィーチャーフォン(Android OS 搭載)の場合 :

検索された「Kurodenwa」を選択してください。

・ フィーチャーフォン(3G ケータイなど、Android OS 非搭載)の場合 :

・ WILLCOM/Y!mobile の携帯電話(PHS)の場合 :

検索された「Kurodenwa」に対して「登録」「接続」などの操作を行って下さい。

※携帯電話にペア設定・認証・接続するかどうかのメッセージが表示された場合には許可して下さい。

(連絡先・通話履歴へのアクセスは許可する必要はありません。)

※携帯電話にパスワード・パスキー(PIN)入力画面が現れた場合には「0000」を入力して下さい。

※フィーチャーフォンの場合、端末暗証番号を入力する画面が現れた場合には、携帯電話本体の暗証番号を入力して下さい。(上記の Bluetooth パスキーとは異なります)。

4) 携帯電話の種類により、さらに接続操作をする必要があります。

- ・ フィーチャーフォン(Android OS 非搭載)の場合、「Kurodenwa」に対して接続操作をしてください。
- ・ それ以外の携帯電話では、前項の機器の登録・認証をすると自動的に接続される場合もあります。

5) ベルが「キンコン」と鳴り、以後鳴り止んだらペアリングおよび接続は完了です。

ペアリング・接続作業を中止するには : 受話器を置いて下さい。

トラブルシューティング : 携帯電話が「Kurodenwa」を検出できない場合 :

- ・ 携帯電話の種類によっては (登録機器リストと新規機器登録のメニューが分かれている場合などに)、既に「Kurodenwa」がリストに登録されている場合は、新規機器登録メニューで検出・検索できない場合があります。一旦機器リストにて登録を削除(解除)してから、再度検出・検索を行って下さい。

(詳しくは携帯電話の取扱説明書にて「Bluetooth 機器の登録解除」などを参照してください)。

- ・ 携帯電話の Bluetooth 機能をオフ・オン(2. 2 節)したり、再起動(4. 15 節)してみてください。
- ・ 黒電話の設定初期化(4. 16 節)を行ってみてください。(各種設定もリセットされます)。

一度ペアリングを行えば、次回からは必要ありません。(通常の使用では、Bluetooth の接続・切断(3. 8 節、3. 9 節)を行うだけです)。

電源が切れても、ペアリング情報は保存されています。設定初期化(4. 16 節)を行った場合にはペアリング登録情報が消去されます。

一旦登録したペアリングを解除するには、受話器を置いた状態でダイヤル「1」を回し、指止めで止め、「キンコン」と鳴ったら指を離して下さい(機器番号 1 番の場合)。解除されたら「キンコン」が 2 回鳴ります。機器番号 2 番、3 番の場合は、それぞれダイヤル「2」、「3」です。

3 通常の使用方法

3.1 着信

最大 2 台までの携帯電話と Bluetooth 接続し、同時に待ち受けできます。

携帯電話に着信があると黒電話のベルが鳴ります。

(黒電話がマナーモードに設定してある場合には鳴りません。(4. 12 節参照))

- ・ 受話器を上げると通話を開始できます。受話器を置くと通話が終了します。
- ・ 着信拒否をするにはフッキング (3. 3 節参照) をしてください。
- ・ 受話器を上げているときに着信があった場合にもベルが鳴ります。フッキング (3. 3 節) することにより通話を開始することができます。

※通話先にエコー(自分の声が遅れて自分に聞こえる現象)が発生した場合、以下の通り調節をしてください。(音量を調節方法は、3. 6 節を参照してください。)

- ・ 受話音量を小さくする
- ・ 送話音量を小さくする

携帯電話本体の着信音については、以下の通りとなります。

- 1) スマートフォンの場合：着信音量の設定により、鳴らすことも、鳴らさないこともできます。
- 2) フィーチャーフォン(Android OS 搭載)の場合：着信音量の設定により、鳴らすことも、鳴らさないこともできます。
- 3) フィーチャーフォン(上記以外)の場合：携帯電話の初期設定では鳴りません。次の設定がある機種は、鳴らすことができます。

Bluetooth メニューの中にて、まず「Bluetooth オフ」にし、次に「Bluetooth 設定」にて「着信音送出設定」がある機種は、「送らない」に設定すると、携帯電話本体から着信音が鳴るようにできます。

設定が終わったら「Bluetooth オン」にしてください。

※着信時に黒電話の受話器を上げるのではなく、携帯電話本体で着信操作をした際に、携帯電話本体から音声が出ない場合には、携帯電話を操作して、音声出力先を Bluetooth から携帯電話本体(イヤピースまたはスピーカー)に切り替えて下さい。

3.2 発信

受話器を上げて、受話器から「ツー」という連続音が出るのを確認してください。

（この際、「ツー・ツー…」という断続音が聞こえたら、携帯電話と Bluetooth での接続ができていません。ペアリング(2.3 節) および Bluetooth の接続(3.8 節)の操作が完了しているかを確認してください。

次に、黒電話のダイヤルを回して電話番号を入力します。しばらく経つと自動的に発信します。

（ダイヤル終了から発信までの待ち時間は設定できます。4.2 節を参照してください。また、ダイヤル終了後にフッキング(3.3 節)をすると、待たずにすぐに発信します)。

2 台の携帯電話が Bluetooth で接続されている場合には、機器番号の小さい方の携帯電話を使って発信します。

同じ番号に連続して発信して相手が応答しないことが何度か続いた場合、発信できない場合があります（携帯電話会社による再発信規制）。その場合は、受話器から「ツー・ツー・ツー・ツー…」という音が鳴ります。

発信規制を解除して、発信可能にする方法は以下の通りです。

- ・しばらく時間をあけてから（数分かかる場合もあります）、再度発信する
- ・携帯電話を再起動する

発信規制時、別の電話番号には発信可能な場合があります。

また、携帯電話本体の操作による発信は可能です。

※携帯電話本体の操作により発信後、黒電話で通話することもできます（携帯電話の種類により出来ない場合や、操作が必要な場合があります）。操作方法は以下の通りです。

- 1) 黒電話の受話器を上げます(受話器から「ツー」という発信音が出ることを確認してください)。
- 2) 次に、携帯電話本体で発信操作(電話番号入力や電話帳など)をします。
- 3) 受話器からの音が「ツー」から発信中の音に変わり、以後は通常の発信と同じです。

※携帯電話の種類により、黒電話の受話器を置いた状態で、携帯電話本体で発信操作をすると、黒電話のベルが「リンリン、リンリン」と鳴る場合があります。この場合、

- ・黒電話で発信・通話をする場合は、黒電話の受話器を上げて下さい。
- ・携帯電話で通話をする場合は、携帯電話を操作して、音声出力先を Bluetooth から携帯電話本体（イヤークラスやスピーカーなど）に切り替えて下さい。（通常、通話画面のスピーカーや Bluetooth のアイコン(スマートフォンの場合)・メニューボタン(フィーチャーフォンの場合)などにて切り替えられます。）

3.3 フッキング

受話器が上がった状態の時に電話がかかってきた場合に電話を取るには、受話器を置いて（または指でフックを押して）、0.5 秒以内に離してください。

その他の用途でもフッキングを使用する場合があります。
（リダイヤル(3.4 節)・ダイヤル後すぐに発信(3.2 節)など）



受話器を置いた状態の時に電話がかかってきた場合に着信可否をするには、受話器を上げて、0.5 秒以内に置いてください。



3.4 リダイヤル

以下のいずれかの操作により、黒電話から最後に発信した電話番号に再発信できます。

- 1) 受話器を上げて、「ツー」という音を確認した後、ダイヤル「6」を回します。
（その後フッキングをするとすぐにリダイヤルを開始します）。



- 2) 受話器を上げて、「ツー」という音を確認した後、フッキング（フックを押して、0.5 秒以内に離す）をしてください。（フッキング前には何もダイヤルしないでください）。



リダイヤル機能を有効にするには、設定が必要です。（4.3 節参照）。

※出荷時には、リダイヤル機能は無効に設定されています。

使用できる電話番号は 31 桁までです。

3.5 短縮ダイヤル

以下の操作により、短縮ダイヤルの登録、発信ができます。

短縮番号 0～9 の合計 10 個の短縮ダイヤルを使用できます。

登録の手順：

- 1) 受話器を置いた状態で「7」を回し、指止めで止めます。ベルが「キンコン」と鳴ったら指を離します。
- 2) 続いて 5 秒以内に「0」～「9」の短縮番号を回します（指止めで止めません）。
- 3) すると現在の設定をベルで通知します。

1 秒ずつ空けて、設定した桁数だけベルが鳴ります。

各桁は、「キンコン」1～9 回は電話番号 1～9、「ジリン」は電話番号 0 です。

※設定が無い場合は「ジリン」が 1 回だけ鳴ります。

※通知ベル完了後 10 秒間何もしないと設定が中止され、「ジリン、ジリン」（短いベル 2 回）が鳴ります。

- 4) 次に、5 秒以上空けずに設定したい電話番号をダイヤルします。最大 23 桁まで登録できます。
上記 3) の通知ベルの途中でもダイヤルできます。
電話番号を入力後 5 秒以上何もしないと確定され、「キンコン」が 1 回鳴ります。
※設定を中止したい場合は受話器を上げて下さい。「ジリン、ジリン」と鳴ります。
※設定を削除したい場合は電話番号「0」(1 桁だけ)を登録してください。

発信の手順：

- 1) 受話器受話器を上げて、「ツー」という音を確認した後、短縮番号「0」～「9」を回し、指止めで止めます。ベルが「キンコン」と鳴ったら離します。
※登録されていない短縮番号を回すと「ジリン、ジリン」と鳴ります。



3.6 受話器・送話器の音量調節

通話中に以下の操作をすると音量を調節できます。

以下の番号をダイヤル後、**指止めで止めます**。ベルが「キンコン」と鳴ったら離します。

- 「3」(指止めで止める)：受信 音量アップ ↑
- 「4」(指止めで止める)：受信 音量ダウン ↓
- 「5」(指止めで止める)：送信 音量アップ ↑
- 「6」(指止めで止める)：送信 音量ダウン ↓

その都度受話器から「プ」と鳴ります。(調節範囲を超えている場合には鳴りません。)



設定した音量は記憶され、次回以降の通話にも有効です。

電池切れになっても記憶されています。設定初期化 (4. 16 節) をすると出荷時の設定に戻ります。

3.7 トーン信号の送出

通話中に以下の操作をすると、トーン信号 (ピポバ音) を通話先に送出することができます。

送出した際には受話器から「プ」と鳴ります (こちら側には番号毎に異なるピポバ音は鳴りません)。

通話中に「0」～「9」をダイヤル：トーン信号 0～9 を送出

通話中に「1」をダイヤル後、指止めで止めます。ベルが「キンコン」鳴ったら離す：「*」を送出

通話中に「2」をダイヤル後、指止めで止めます。ベルが「キンコン」鳴ったら離す：「#」を送出

※通話先がこちら側の携帯電話と同じキャリアの携帯電話の場合 (例：自分も通話先もドコモの場合など)、トーン信号が送出されない場合があります。通話先が固定電話の自動応答システムの場合には、問題ありません。

3.8 Bluetooth の接続

携帯電話と Bluetooth の接続をするには、以下の通り 4 つの方法があります。

※下記の手順で接続をするには、まずペアリング (2.3 節) を行っておく必要があります。

※既に別の携帯電話と Bluetooth の接続をしている場合は、まずその携帯電話と切断 (3.9 節) を行ってから新たな携帯電話と接続を行ってください。

最大 2 台の携帯電話と接続し、同時待ち受けできます。

接続が完了していると、受話器を上げた時に「ツー」音が鳴ります。

接続が完了していない場合には受話器を上げた時に「ツー・ツー」音が鳴ります。

① 黒電話の操作により接続する方法 (その 1) ←通常はこの方法が便利

受話器を上げると最後にペアリング操作または接続操作をした「1」「2」「3」のいずれかの携帯電話に接続します。

受話器を上げると「ツ・ツー…… ツ・ツー……」の繰り返し音が鳴ります。携帯電話との接続が完了するとベルが「キンコン」と鳴り、受話器の音が「ツー」に変わります。

※この操作による接続を行うには、「オフフック時自動接続」機能がオンになっている必要があります。出荷時にはオンになっています。設定を変更するには 4.4 節を参照して下さい。



受話器を上げる
だけ

「ツ・ツー」音の後
「キンコン」

② 黒電話の操作により接続する方法 (その 2) ←接続する携帯電話を指定したい場合

受話器を置いたまま、接続したい機器番号「1」「2」「3」のいずれかを回して下さい。

「キンコン… キンコン…」とベルが繰り返し鳴り続けます。

接続が完了すると「キンコン」と一度鳴り、ベルが鳴り止みます。

ベルが鳴っている途中で受話器を上げると、接続作業が中止され、ベルが鳴り止みます。

ペアリングしていない機器番号をダイヤルすると、「ジリン、ジリン」と鳴り、エラーとなります。まずペアリング (2.3 節) を行って下さい。

既に携帯電話と接続している状態で別の機器番号をダイヤルすると「ジリン、ジリン」と鳴り、エラーとなります。一旦切断してから (3.9 節) 接続操作を行って下さい。



ダイヤルを回すと
ベルが鳴り続ける
→接続すると「キンコン」

③ 携帯電話の操作により接続する方法 ←接続する携帯電話を指定したい場合

携帯電話から携帯黒電話 (名称は「Kurodenwa」) を選び、「接続」の操作を行って下さい。(操作方法は携帯電話によって異なります)。

接続が完了すると、黒電話のベルが「キンコン」と鳴ります。



接続操作



「キンコン」1回

④ 常時自動接続の設定をする方法 ←可能な限り常時接続しておきたい場合

Bluetooth の接続が切れている間、携帯黒電話から常時接続を試みます。ペアリングが完了している携帯電話に対し、順に接続を試みます。

そのため、何らかの理由により Bluetooth の接続が切れても、再度接続可能な状態・電波到達範囲に入ると自動的に接続されます。

自動接続が完了した際には、黒電話のベルが「キンコン」と鳴ります。

この方法で接続するには設定が必要です。出荷時にはオフになっています(設定方法は 4.5 節)。
常時接続の接続間隔は 3 分、1 分、20 秒のいずれかを設定できます。設定した時間おきに 5 秒間だけ接続を試みます。

この機能を使用すると携帯黒電話の消費電流が増え、連続待ち受け時間が短くなります。
接続間隔を長くすると連続待ち受け時間が長くなりますが、自動接続するまでの時間も長くなります。

接続間隔	連続待ち受け時間(最大)	接続に要する時間(最大)
オフ	約 8 日	接続しない
3 分	約 7 日	3 分×登録台数
1 分	約 5.5 日	1 分×登録台数
20 秒	約 3.5 日	20 秒×登録台数

※「登録台数」とは、機器番号 1～3 にペアリング済みの台数です。

3.9 Bluetooth の切断

黒電話での通話を使用しない場合には、以下の手順で Bluetooth の接続を切断して下さい。

以下の方法があります。

また、既に接続している携帯電話とは別の携帯電話に接続したい場合も、以下の方法で接続を一旦切断してから、接続操作(3.8 節)を行って下さい。

① 黒電話の操作により切断する方法

- ・全ての接続を切断する場合：
受話器を置いたまま、黒電話のダイヤル「4」または「4 4」を回して下さい。

- ・機器番号を指定して切断する場合：
受話器を置いたまま、黒電話のダイヤル「4 1」を回して下さい(機器番号 1 番の場合)。機器番号 2 番、3 番の場合は、それぞれ「4 2」「4 3」です。

切断が完了すると、黒電話のベルが「キンコン、キンコン」と 2 度鳴ります。



「4」をダイヤル

② 携帯電話の操作により切断する方法

携帯電話から携帯黒電話の名称「Kurodenwa」を選び、「切断」の操作を行って下さい。(操作方法は携帯電話によって異なります。この操作ができない携帯電話もあります)。

切断が完了すると、黒電話のベルが「キンコン、キンコン」と 2 度鳴ります。



切断操作

③ Bluetooth の電波が届かなくなった場合には、黒電話のベルが「キンコン、キンコン」と 2 度鳴り、切断されたことを示します。

3.10 タイマー機能

携帯黒電話をタイマーとして使用できます。

設定できる時間は1分～99分（1分刻み）です。

タイマーの時間精度はあまり良くありませんので、あくまでも目安として使用してください。

操作方法は以下の通りです。

1) タイマーのセット

受話器を置いたまま、「0」に続けて、2桁の時間（分）をダイヤルしてください。各桁の間は5秒以上空けないでください。5秒以上空けると「ジリン、ジリン」とベルが鳴り、設定が中断されます。

3桁の番号をダイヤルし、タイマーがセットされると「キンコン」とベルが鳴ります。

例：3分を設定する場合、「003」をダイヤルしてください。

設定可能な最大時間は99分（「099」をダイヤル）です。

2) タイマー通知ベル

設定した時間に到達すると、「リン... リン...」とベルが鳴り続け、約30秒後に停止します。

受話器を上げるとベルが止まります。

通話中にタイマー設定時間に到達した場合には、通話が終了し、受話器を置いた後にタイマー通知ベルが鳴ります。

3) キャンセル

一旦セットしたタイマーをキャンセルするには、受話器を置いたまま「000」をダイヤルしてください。キャンセルされると、「ジリン」と鳴ります。

3.11 バッテリー残量の確認

受話器を置いたまま「5」をダイヤルすると以下の通りベルが鳴り、バッテリー残量を確認できます。

「キンコン」3回：バッテリーレベル：高

「キンコン」2回：バッテリーレベル：中

「キンコン」1回：バッテリーレベル：低

3.12 ベルテスト

受話器を置いたまま「9」をダイヤルすると、ベルが鳴ります。「9」をダイヤルするたびに鳴り方が変わります。

1回目：電話の着信ベル「ジリリリリーン、ジリリリリーン」

2回目：確認のベル「キンコン」

3回目：タイマーのベル「リン... リン...」

4回目：通話アプリの着信ベル「リンリン...、リンリン...」

5回目：海外の着信ベル1

6回目：海外の着信ベル2

7回目：ベル停止

受話器を上げると止まります。

3.13 iPhone の Siri など使用時の注意事項

iPhone の本体を操作して Siri を起動すると、黒電話のベルが「リンリン...、リンリン...」と鳴り始める場合があります。これは、iPhone が Siri の音声を Bluetooth ハンズフリーから出力・入力しようとしていることを示すベルです（詳細は 3.16 節を参照して下さい）。

これを回避するためには、以下の操作を行って下さい。

- 1) Siri を起動したら、画面下部をタップし、音声入力をキャンセルします。
- 2) 「たとえばこのように尋ねてください」の画面が表示されたら、画面右下の Bluetooth アイコンをタップし、接続先を「Kurodenwa」から「iPhone」に切り替えます。

3.14 スマートフォンの音声アシスタント操作

スマートフォンの音声アシスタント (iPhone の Siri や Android スマートフォンの Google アシスタントなど) を起動・操作することができます。操作方法は以下の通りです。

- 1) 以下のいずれかの方法で音声アシスタントを起動します。
 - a) 受話器を上げてダイヤル「0」を回す。
 - b) 受話器を上げて、何もダイヤルせずにフッキング (3.3 節) をする。
(フッキングは出荷時には無効になっています。有効にする方法は 4.7 節を参照してください。)
- 2) 受話器からアシスタントの起動音が聞こえますので、受話器から音声を入力してください。
- 3) スマートフォンからの応答音声は受話器へ出力されます。
- 4) 終了したら受話器を置いて下さい。
- 5) スマートフォンやアシスタントアプリのバージョンによっては、受話器を置かずダイヤル「0」またはフッキングを行うと音声アシスタントを再度起動できる場合があります。

※この機能を利用するためには、スマートフォンの設定で、音声アシスタントを有効にしてください。

iPhone の場合：

設定アプリ→Siri と検索の中から以下の 2 項目を確認

ホームボタンを押して Siri を使用を「オン」に設定

ロック中に Siri を許可を「オン」に設定（「オフ」ではロック中に使えません）

Android スマホの場合：

設定アプリ→Google→アカウントサービス→検索、アシスタント音声の中から以下の 5 項目を確認

└Google アシスタント→アシスタントタブ→スマートフォン

├Google アシスタントを「オン」に設定

├優先する入力を「音声」に設定

├音声出力を「ON」に設定（「ハンズフリー時のみ」では画面オンの時には音声が出ません）。

└音声→Bluetooth での録音を「オン」に設定

└→デバイスロック時に Bluetooth のリクエストを許可を「オン」に設定
（「オフ」に設定するとロック中にアシスタントが使えません）

※音声アシスタントから電話をかける機能を使うと、そのまま通話をすることができます。通話が終了したら受話器を置いて下さい。

※次節の A2DP 機能を有効にしている場合、音声アシスタントから音楽を再生する機能を使うと、受話器から音楽が再生されます。

※上記の内容は、スマートフォンやアプリのアップデートで変わる場合があります。

3.15 メディア再生の操作(A2DP 機能)

スマートフォンの音楽などメディア再生の音を黒電話の受話器で聞くことができます。操作方法は以下の通りです。(この機能は初期設定ではオフになっています。オンにする方法は 4.8 節を参照してください)。

- 1) まず、受話器を上げて「7」をダイヤルしてください。受話器から「プ」と音がして、メディア操作モードになります。
(前節の操作で音声アシスタントを起動しても、メディア操作モードになります。)
- 2) 次に、1 桁の番号をダイヤルしてください。可能な操作は下表の通りです。
番号は繰り返し入力できます。
- 3) 受話器を置くと再生を停止し、メディア操作モードを終了します。

番号	コマンド
1	再生開始
2	再生停止
3	再生音量アップ(※1)
4	再生音量ダウン(※1)
5	次の曲へ
6	前の曲へ
9	音声アシスタント停止
0	音声アシスタント開始

※1 メディアの音量と通話の音量の設定は共通です。

※A2DP のオン・オフを切り替えた際はスマートフォンのペアリングを一旦解除してから、再度やり直して下さい。

※A2DP を有効にしていると、音楽再生・動画再生アプリの音、ゲームの音なども受話器に送られるため、スマートフォン本体からこれらの音が出なくなります。アラームなど一部の音はスマートフォン本体から鳴ります。

※A2DP をオンに設定すると、2 台以上の携帯電話とペアリングしていても、同時接続は 1 台のみに制限されます。

※Android スマートフォンの場合は、A2DP が有効になっているかを以下の方法で確認できます。
黒電話と接続中に、Bluetooth 設定画面で「Kurodenwa」右側の歯車アイコンをタップして、「メディアの音声」の設定にて

※上記の内容は、スマートフォンやパソコンのソフトウェアアップデートで変わる場合があります。

3.16 スマートフォンの通話アプリ (IP 電話) での通話

携帯黒電話での通常の通話 (070/080/090 電話番号) は Bluetooth の HFP (ハンズフリープロファイル) の通信を使用します。

しかし、スマートフォンの通話アプリ (Apple Facetime, Google Duo, Skype, LINE, Rakuten Link 等) や IP 電話 (SMARTalk, Viber 等) は完全には HFP に対応していません。通話アプリの着信・発信時の動作は以下の表の通りです。

※以下の説明は全てのスマートフォン・OS・アプリでの動作を保証するものではありません。

- ・通話アプリの着信時にスマートフォンからも黒電話からも着信音が鳴らない
- ・通話デバイスの切り替え (スマートフォン本体または黒電話の受話器) がうまくいかないなどの不具合が発生する場合があります。

また、今後のアプリ・OSアップデートに伴い、動作が変わる可能性があります。

※本機能により、通話アプリだけでなく、通常の電話の通話に不具合が発生する可能性があります。その場合には 4.6 節に従って「通話アプリ機能を使用しない」に設定を変更してください。

通話アプリ機能 (4.6 節) を有効にした場合の動作

iPhone の場合	
着信時	スマートフォン本体から着信音が鳴る。黒電話で通話開始・通話が可能 (※1 動作)。(※5 操作)、(※6 操作)を確認のこと。
発信時	スマートフォン本体で発信操作が必要。 1) スマートフォン本体から発信音は鳴らない。(※3 動作)。 2) (※7 操作) にて発信することも可能。 (※5 操作)、(※6 操作)を確認のこと。
Siri 起動時	最初、スマートフォン本体から Siri 音声の入出力ができない。(※3 動作)。 3.13 節に従って音声入出力デバイスを iPhone 本体に切り替えて下さい。スマートフォン本体から Siri 音声の入出力が可能になります。

Android スマートフォンの場合	
着信時	スマートフォン本体から着信音が鳴る。黒電話で通話をするにはスマートフォン本体で着信操作が必要 (※2 動作)。アプリによっては、着信操作後に (※3 動作)。(※4 注意)、(※5 操作)、(※6 操作)を確認のこと。
発信時	スマートフォン本体で発信操作が必要。 1) スマートフォン本体から発信音は鳴らない。(※3 動作)。 2) (※7 操作) にて発信することも可能。 (※4 注意)、(※5 操作)、(※6 操作)を確認のこと。

スマートフォン・通話アプリによっては、上記の表とは動作が異なる場合があります。

黒電話への着信は無く、そのままスマートフォン本体で発信・着信・通話ができる場合があります。また、黒電話での通話が全くできない場合があります。

(※1 動作) :

黒電話に着信がある。(通常のベルの鳴り方)。

- a) 黒電話の受話器を上げると、黒電話で通話できます。受話器を置くと、通話が終了します。
- b) スマートフォンで通話をしたい場合、スマートフォンで着信操作を行った後、(※5 操作)の方法で通話デバイスを切り替えてください。

(※2 動作) :

黒電話に着信がある。(ベルは「リンリン...、リンリン...」と鳴ります)。

- a) 黒電話の受話器を上げ、さらにスマートフォンで着信操作をすると、黒電話で通話ができます。受話器を置いても、通話は終了しません。(※4 注意)参照。
- b) スマートフォンで通話をしたい場合、スマートフォンで着信操作を行った後、(※5 操作)の方法で通話デバイスを切り替えてください。

(※3 動作) :

黒電話に着信がある。(ベルは「リンリン...、リンリン...」と鳴ります)。

- a) 黒電話の受話器を上げると、黒電話で通話ができます。受話器を置いても、通話は終了しない場合があります(特に Android スマートフォンの場合)。(※4 注意)参照。
- b) スマートフォンで通話をしたい場合、(※5 操作)の方法で通話デバイスを切り替えてください。

(※4 注意) :

通話アプリ・スマートフォンの種類によっては、黒電話の受話器にて通話中、受話器を置いても通話が終了しない場合があります。この場合、スマートフォン本体での通話に切り替わり、通話は続いていますので注意してください。通話を終了するにはスマートフォンで通話終了の操作が必要です。

(※5 操作) :

通話アプリによっては使用するデバイスを切り替えることができます。通話中の画面で、スピーカーや Bluetooth のアイコンをタップしてください。

「スピーカー」／「イヤープース」／「iPhone」などはスマートフォン本体での通話になります。

「Bluetooth」や「Kurodenwa」などは黒電話での通話になります。

スマートフォン本体から Bluetooth に切り替えた場合、黒電話に着信があり、受話器を上げると黒電話で通話ができます。上記(※3 動作)参照。

また、先に受話器を上げてから Bluetooth に切り替えると、黒電話への着信を省くことができます。

(※6 操作) :

スマートフォン本体にて通話中、黒電話の受話器を上げて機器番号(「1」～「3」)をダイヤルすると、黒電話で通話できます。(通話アプリ・スマートフォンによっては、できない場合もあります)。

(※7 操作) :

以下の方法で、黒電話への着信を省き、素早く黒電話で通話が始まります。

黒電話の受話器を上げた後、通話アプリで発信・着信操作をしてください。

受話器からは、最初は「ツー」という発信音がしますが、スマートフォンと接続されると発信音または通話に切り替わります。

4 各種設定

本製品には各種設定があり、以下の方法で設定ができます。

1) 受話器を置いたまま、各設定項目の機能番号の1桁目をダイヤル(右へ回す)した後、指止めところで3秒ほど一旦止めます。

「キンコン」と鳴ったら指を離します。

2) 続けて、機能番号2桁目のダイヤルを回します。(指止めで止めません)。

(2桁目が無い機能番号、3桁目がある機能番号もあります)。

3) その後ベル鳴り、現在の設定値を知らせます。(鳴り方は下表参照)

4) 設定を行う場合は番号をダイヤルしてください。

※5秒間ダイヤルしないと「ジリン、ジリン」と鳴り、設定を中止します。

※受話器を上げて「ジリン、ジリン」と鳴り、設定を中止します。

5) 設定が完了した値をベルで知らせます。(鳴り方は下表参照)

※機能番号を間違いや、設定値が範囲を超えている場合には「ジリン、ジリン」と鳴ります。

※設定内容は、バッテリー切れや電源オフをしても保存されます。

設定中のベルの鳴り方		
設定完了	設定値 1~9	「キンコン」1回~9回
	設定値 0	「ジリン」(短いベル1回)
設定中止 または エラー		「ジリン、ジリン」(短いベル2回)

次ページ以降の表の見方	
機能番号	受話器を置いたまま回す番号を示します。 番号の後にHがある場合、指止めで止めることを示します。 (HはHoldの略です。)
設定値	設定できる値を示します。 ()の中は出荷時・設定初期化後の設定値を示します。
機能説明	設定値と機能の関係を説明しています。

例：4.1節の充電速度(5H1)を設定する場合、次の3つを続けてダイヤルします。

1) (5H1の5H):5をダイヤルし、指止めで止め、「キンコン」と鳴ったら離します。

2) (5H1の1):1をダイヤルします。(指止めで止めません。)

ベルが鳴り、現在の設定値を通知します。

3) 設定値(1~4のいずれか)をダイヤルします。(指止めで止めません。)

ベルが鳴り、設定した値を通知します。

4.1 充電速度・充電完了ベルの設定

内蔵バッテリーの充電速度・充電完了ベルの設定をします。

通常は、Micro-USB コネクタに接続された先が PC か AC アダプタかを自動判別し、標準充電(PC の場合)／急速充電(AC アダプタの場合)を切り替えます。

自動判別できない場合や、USB ハブから充電する場合等、充電電流をさらに小さくしたい場合にこの設定を行ってください。

機能番号	設定値	機能説明
5H1	1～4 (4)	1：低速充電（最大 100mA）に設定 2：標準充電（最大 500mA）に設定 3：急速充電（最大 1000mA）に設定 4：標準／急速充電を自動判別
5H2	0, 1 (1)	充電完了ベル 0:鳴らない 1:鳴る

4.2 ダイヤル桁間タイマの設定

ダイヤル速度が遅い電話機や、ダイヤルに時間がかかりダイヤル途中で発信してしまう場合には、以下の設定でダイヤル終了から発信までの待ち時間を長くすることができます。

機能番号	設定値	機能説明
5H7	0, 1 (0)	ダイヤル桁間タイマ 0:標準 1:延長

4.3 リダイヤル機能の設定

リダイヤルする方法を設定します。

機能番号	設定値	機能説明
6H1	0, 1 (0)	ダイヤル「6」でリダイヤル 0:オフ 1:オン
6H2	0, 1 (0)	フッキングでリダイヤル ※4.7 節の「フッキングで音声アシスタント起動」が有効になっていると本機能は動作しません。 0:オフ 1:オン

4.4 オフフック時自動接続の設定

機能番号	設定値	機能説明
8H1	0, 1 (1)	受話器を上げた際に、自動的に Bluetooth 接続を開始する機能です。 0:オフ 1:オン

4.5 常時自動接続の設定

ペアリングが完了している携帯電話に自動的に常時接続を試みるか否かとその間隔を設定します。

機能番号	設定値	機能説明
8H3	0～3 (0)	0:自動接続しない 1:3 分おき 2:1 分おき 3:20 秒おき

4.6 通話アプリ機能の設定

機能番号	設定値	機能説明
8H4	0～3 (3)	最近のスマートフォンで通話アプリを使用する場合は 3 を設定してください。 0: オフ (通話アプリを使用しない) 1: オン (iPhone iOS11 以前/Android 用) 2: オン (iPhone iOS11 以前用) 3: オン (iPhone/Android 用)

4.7 音声アシスタント機能の設定

音声アシスタントを起動する方法を設定します。

機能番号	設定値	機能説明
6H3	0, 1 (1)	ダイヤル「0」で音声アシスタント起動 0: オフ 1: オン
6H4	0, 1 (0)	フッキングで音声アシスタント起動 0: オフ 1: オン

4.8 A2DP 機能

Bluetooth の A2DP (メディアの音声)、AVRCP (メディアの操作) のプロファイルを有効にします。この設定をした後には黒電話の再起動が必要です。(設定後、受話器を上げるかダイヤルを回すと自動的に再起動します。その際、「キンコン」が 4 回鳴ります。)

機能番号	設定値	機能説明
6H5	0～3 (0)	A2DP 機能を有効にする場合は 3 を設定してください。 0: 機能オフ (1: HSP をオン 2: HSP, AVRCP をオン) 3: HSP, A2DP, AVRCP をオン

4.9 Bluetooth デバイス名の設定

Bluetooth のデバイス名 (ペアリングや接続の操作時に携帯電話に表示される本製品の名称) は、初期設定では「Kurodenwa」ですが、以下の方法で変更することができます。

本製品を複数台使用する際など、個体を識別したい場合に使用してください。

この設定は、ペアリング・接続操作をする前に行ってください。

既にペアリングした場合には一旦ペアリングを解除してから、再度行って下さい。

機能番号	設定値	機能説明
8H8	0～9 (0)	0 : Kurodenwa 1～9 : Kurodenwa (1) ～Kurodenwa (9)

4.10 ベル音量の設定

機能番号	設定値	機能説明
5H5	0～7 (3)	0: 最小～7: 最大 設定値と音量が比例しない場合があります。

4.11 着信ベル種類の設定

機能番号	設定値	機能説明
5H6	0~2 (0)	0: 日本のベル 1: 海外のベル 1 2: 海外のベル 2 海外のベル 1, 2 に設定すると発信前のトーンの音程が変わります。

4.12 マナーモードの設定

機能番号	設定値	機能説明
9H	0, 1 (1)	着信ベルを鳴らすか否かの設定です。 機能番号が 1 桁なので、9 をダイヤル(指止め)に続き 0 または 1 をダイヤルしてください。 0: 着信ベルオフ(マナーモード) 1: 着信ベルオン

4.13 バージョン番号確認

ファームウェアのバージョン番号を確認します。

機能番号	設定値	機能説明
5H0	無し	1 桁ずつ間隔を空けて、3 桁のバージョン番号(x, y, z)を通知します。 各桁は「キンコン」と鳴る回数(1~9)または「ジリン」(0)です。 この取扱説明書の最終ページ右下の番号(ver. x. yz)に対応しています。

4.14 電源オフ

機能番号	設定値	機能説明
0H1	無し	「キンコン」が 2 回鳴って、電源がオフになります

4.15 再起動

携帯黒電話に何らかの異常が発生した場合、再起動を行ってください。

機能番号	設定値	機能説明
0H0	無し	「キンコン」が 4 回鳴って、携帯黒電話の内部回路が再起動します。

4.16 設定初期化

上記の再起動でも異常が改善しない場合は設定初期化を行ってください。

初期化後は、各種設定・受話器および送話器の音量が出荷時の状態に戻ります。

Bluetooth のペアリング登録情報も消去されます。

機能番号	設定値	機能説明
0H99	無し	「キンコン」が 5 回鳴って、携帯黒電話の設定が初期化され、再起動します。

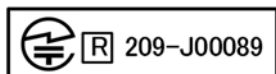
5 付録

5.1 電波法の認証について

本製品は日本の総務省の工事設計認証を受けた Bluetooth モジュールを内蔵しています。
モジュールの情報は以下の通りです。

認証製品名	WT32i/ Bluetooth 3.0 Module
認証申請者名:	Blue Giga Technologies Oy
認証番号	ACB-MIC000029

認証マークはモジュール刻印と同じものを機器外部や取扱説明書に記載できることが法律で認められています。必要な場合は以下のラベルをコピーして電話機の底面等に貼り付けてください。



5.2 仕様

Bluetooth 仕様	Ver2.1+EDR Class2 (通信距離最大 10m、実用 3m 程度)
Bluetooth 対応プロファイル	HFP 1.6, HSP 1.2, A2DP (*), AVRCP (*) *は A2DP 機能有効時
接続可能な携帯電話数 (Bluetooth 接続)	同時接続・待ち受け台数: 最大 2 台 (A2DP 有効時は最大 1 台) 同時通話: 1 台 ペアリング: 最大 3 台
電波法関連	総務省の工事設計認証取得済みモジュールを内蔵
電源	リチウムイオン充電電池 3.7V 1900mAh
待ち受け時間 (Bluetooth 接続時)	最大約 8 日間 (電波環境や携帯電話との距離により変わります)
内蔵バッテリー充電時間	標準充電: 4 時間程度 急速充電: 3 時間程度 常時 AC アダプタ接続での使用も可能 (過充電防止機能あり)
充電用電源入力	Micro-USB Micro-B レセプタクル (メス) コネクタ (Micro-USB からマグネットコネクタへの変換アダプタ装着 ※制御基板キットではオプション) ・標準充電: 5V 最大 500mA ・急速充電: 5V 最大 1.0A 充電速度は自動切り替え。手動設定も可能。
付属品	取扱説明書(本書) USB 充電ケーブル USB 充電器 (AC100V 用)
保証期間	1 年間 ただし使用上の注意(第 1 章)に従い使用された場合に限り 保証期間後も、有償で故障修理や劣化したバッテリーの交換が可能です。購入先にお問い合わせください。

5.3 特殊ダイヤル操作一覧表

受話器を置いた状態		
番号	普通にダイヤル	指止めで止める※
1	Bluetooth 接続 機器番号 1	ペアリング解除 機器番号 1
2	Bluetooth 接続 機器番号 2	ペアリング解除 機器番号 2
3	Bluetooth 接続 機器番号 3	ペアリング解除 機器番号 3
4	Bluetooth 切断 (1 桁, 2 桁)	
5	バッテリー残量確認	一般の設定 (3 桁)
6		発信関連の設定 (3 桁)
7		短縮ダイヤルの登録
8	ペアリング・接続 (2 桁)	Bluetooth 接続関連の設定 (3 桁)
9	ベルテスト	マナーモード設定 (2 桁)
0	タイマー機能 (3 桁)	電源オフ・再起動・設定初期化 (2 桁, 3 桁)

受話器を上げた状態				
番号	発信前に		発信後、通話中に	
	普通にダイヤル	指止めで止める※	普通にダイヤル	指止めで止める※
1	通話アプリ接続 1	短縮 : 0001 番	トーン信号送出 : 1	トーン信号送出 : *
2	通話アプリ接続 2	短縮 : 0002 番	トーン信号送出 : 2	トーン信号送出 : #
3	通話アプリ接続 3	短縮 : 0003 番	トーン信号送出 : 3	受信音量アップ
4		短縮 : 0004 番	トーン信号送出 : 4	受信音量ダウン
5		短縮 : 0005 番	トーン信号送出 : 5	送信音量アップ
6	リダイヤル	短縮 : 0006 番	トーン信号送出 : 6	送信音量ダウン
7	メディア操作モード	短縮 : 0007 番	トーン信号送出 : 7	
8		短縮 : 0008 番	トーン信号送出 : 8	
9		短縮 : 0009 番	トーン信号送出 : 9	
0	音声アシスタント起動	短縮 : 0000 番	トーン信号送出 : 0	

受話器を上げた状態	
音声アシスタント・メディア操作モード中	
番号	普通にダイヤル
1	メディア再生開始
2	メディア再生停止
3	受信音量アップ
4	受信音量ダウン
5	次の曲へ
6	前の曲へ
7	
8	
9	音声アシスタント停止
0	音声アシスタント起動

※「指止めで止める」とは、次の操作です。
各番号のダイヤルを右へ回した後、
指止めのところで3秒ほど一旦止め、
「キンコン」と鳴ったら指を離します。

販売・製造：浜谷製作所

インターネットウェブサイト：<https://ttrmkr.sakura.ne.jp/>

2020 年 11 月

ver. 6.00